

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 シーマ
 コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 勝代
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括 (氏名) 松橋 英一
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3567-8098

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,683	△13.0	△492	—	△505	—	△689	—
25年3月期第3四半期	6,536	△8.9	△547	—	△559	—	△996	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △691百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △996百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△3.75	—
25年3月期第3四半期	△5.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第3四半期	6,361	—	3,322	—	52.2	—
25年3月期	7,435	—	4,013	—	54.0	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,322百万円 25年3月期 4,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,401	△13.5	△752	—	△766	—	△1,057	—	△5.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	183,765,644 株	25年3月期	183,765,644 株
26年3月期3Q	104,055 株	25年3月期	102,262 株
26年3月期3Q	183,662,716 株	25年3月期3Q	183,719,961 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府による景気対策や日銀の金融緩和を背景に企業の業況判断も幅広く改善してまいりました。個人消費も雇用情勢や所得環境が改善するなかで底堅く推移しておりますが、回復が遅れている欧州経済、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念等、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社および当社の関係会社（以下、当社グループという）の主力であるブライダルジュエリー販売は、期初からの取り組みである来店特典を充実させた販促キャンペーン等に力を入れたことにより、上期と比較して集客の下げ止まりの兆しが見られました。

そのような状況のなか、効果が低下している結婚情報誌の媒体費用を削減し、自社Webサイト経由の集客を増加させるべく、リスティング広告等へ費用を移行しておりますが、業績を大きく改善するまでには至らず、厳しい状況は続いております。

店舗の状況については、売上高に対し賃料の比率が高い状態が続いていた、エクセルコ ダイヤモンド静岡店（リニューアルオープン平成25年11月23日）、銀座ダイヤモンドシライシ浜松店（同、平成26年1月21日）の移転を実施すると共に、未だ進出していないエリアである、静岡県の沼津駅前商業施設に平成25年12月14日に銀座ダイヤモンドシライシ沼津店をオープンしております。

一方、今後の集客対策の効果を織り込んでも収益の回復が困難と判断した一部店舗の内装設備等の減損損失を41百万円計上、また、ブライダル関連販売・サービスのうち、現状の投資のままでは収益への貢献が期待できないギフト販売から撤退するため、事業整理損を57百万円計上し、当第3四半期連結会計期間で合計99百万円を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高56億83百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業損失4億92百万円（前年同四半期は、営業損失5億47百万円）、経常損失5億5百万円（前年同四半期は、経常損失5億59百万円）、四半期純損失6億89百万円（前年同四半期は、四半期純損失9億96百万円）となりました。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第3四半期連結累計期間（千円） （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	前年同四半期比 （%）	構成比 （%）
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	5,409,679	86.8	95.2
	ファッション関連販売・サービス	268,231	89.3	4.7
	その他（注）2	5,977	417.9	0.1
合 計		5,683,888	87.0	100.0

（注）1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

2. 「その他」は、催事・本社関連などの売上となっております。

3. 「ブライダル関連販売・サービス」は、ブライダルジュエリー販売、ギフト販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっております。「ファッション関連販売・サービス」は、ファッションジュエリー販売の売上となっております。なお、ギフト販売については当第3四半期連結会計期間より、撤退のため新規販売を停止しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億76百万円減少（前連結会計年度比19.8%減）し、39億50百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少2億99百万円、商品及び製品の減少6億31百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少（同3.9%減）し、24億10百万円となりました。主な要因としては、退店予定の店舗内装設備等を減損損失に計上したことなどによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて14.4%減少し、63億61百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億43百万円減少（前連結会計年度比8.3%減）し、26億88百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の減少98百万円、1年内償還予定の社債45百万円、借入金の減少1億27百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億38百万円減少（同28.4%減）し、3億50百万円となりました。主な要因としては、社債の減少75百万円、長期借入金の減少51百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.2%減少し、30億39百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億91百万円減少（前連結会計年度比17.2%減）し、33億22百万円となりました。主な要因としては、四半期純損失による利益剰余金の減少6億89百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は54.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

全社でのコスト削減の意識が浸透されてきたことにより販管費削減が進み、さらに、不採算事業の見直しや配置転換に伴う経費負担の見通しも抑えられていることから、平成25年11月8日に公表しました平成26年3月期通期連結業績予想との間に差異が生じる見込みがあるため、業績予想を修正しております。

詳細については、平成26年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970,303	670,776
受取手形及び売掛金	374,635	329,467
商品及び製品	3,360,052	2,729,047
原材料及び貯蔵品	66,318	73,971
前払費用	87,098	144,990
その他	68,791	2,731
貸倒引当金	△177	△25
流動資産合計	4,927,023	3,950,959
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	504,903	409,571
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品 (純額)	1,000,639	1,015,878
建設仮勘定	—	12,014
有形固定資産合計	1,505,543	1,437,464
無形固定資産		
ソフトウェア	35,141	24,453
電話加入権	4,932	4,932
無形固定資産合計	40,073	29,386
投資その他の資産		
長期前払費用	15,299	11,099
長期貸付金	10,550	6,867
敷金及び保証金	936,665	924,836
その他	14,226	14,420
貸倒引当金	△13,558	△13,526
投資その他の資産合計	963,182	943,696
固定資産合計	2,508,800	2,410,546
資産合計	7,435,823	6,361,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	198,472	100,408
短期借入金	1,800,000	1,709,000
1年内償還予定の社債	170,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	110,576	74,104
未払金及び未払費用	458,879	422,768
未払法人税等	40,581	30,467
前受金	112,998	168,855
その他	40,862	57,799
流動負債合計	2,932,371	2,688,404
固定負債		
社債	175,000	100,000
長期借入金	51,260	—
退職給付引当金	260,744	248,119
長期未払金	2,718	2,115
その他	—	500
固定負債合計	489,722	350,734
負債合計	3,422,094	3,039,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,777,743	1,777,743
資本剰余金	1,536,643	1,536,643
利益剰余金	698,805	9,668
自己株式	△1,889	△1,932
株主資本合計	4,011,301	3,322,123
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,428	244
その他の包括利益累計額合計	2,428	244
純資産合計	4,013,729	3,322,367
負債純資産合計	7,435,823	6,361,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,536,661	5,683,888
売上原価	2,171,909	1,990,647
売上総利益	4,364,752	3,693,241
販売費及び一般管理費	4,912,532	4,185,413
営業損失(△)	△547,780	△492,172
営業外収益		
受取利息	195	110
為替差益	—	4,442
未払配当金除斥益	3,271	—
その他	4,231	3,481
営業外収益合計	7,698	8,034
営業外費用		
支払利息	14,511	18,736
社債利息	4,692	3,048
為替差損	274	—
その他	68	51
営業外費用合計	19,548	21,836
経常損失(△)	△559,629	△505,974
特別損失		
固定資産除却損	2,439	401
減損損失	146,659	100,698
事業整理損	—	57,705
特別損失合計	149,098	158,805
税金等調整前四半期純損失(△)	△708,728	△664,779
法人税、住民税及び事業税	27,959	24,357
法人税等調整額	260,172	—
法人税等合計	288,131	24,357
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△996,860	△689,136
四半期純損失(△)	△996,860	△689,136

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△996,860	△689,136
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	224	△2,183
その他の包括利益合計	224	△2,183
四半期包括利益	△996,635	△691,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△996,635	△691,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第三者割当増資 (普通株式発行)

当社は、平成26年1月21日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議し、平成26年2月6日に払込みが完了しております。

1. 概要

(1) 株式の種類及び数	当社普通株式	15,950,000株
(2) 発行価額	1株につき金22円	
(3) 発行価額の総額	350,900,000円	
(4) 資本組入額	175,450,000円	
(5) 払込期日	平成26年2月6日	
(6) 割当先及び割当株式数	株式会社ベルコ	4,550,000株
	株式会社つばさ	4,550,000株
	株式会社オーキッド	1,370,000株
	エス・エイチ・サービス株式会社	1,370,000株
	有限会社蒲公英	1,370,000株
	有限会社うつ味	1,370,000株
	有限会社ブッシュ・クローバー	1,370,000株

2. 増資資金の使途

- ①IT投資、スマートフォン等の新しいメディアに対応するための投資費用
- ②既存店舗の移転、改装のための設備投資費用
- ③現在計画している国内5店舗の新規出店に伴う内外装費用、敷金・保証金費用
- ④海外出店のための準備費用として調査費用、事務所、店舗開設準備のための費用